

大学生生活をふりかえって

大学での数年間は、様々な出会いや経験、挑戦の連続であり、後の人生に大きな影響を与え、自分自身にとっても貴重な時間となっていることでしょう。
今回4人の方に「大学生生活をふりかえって」と題して、作文を書いていただきました。他人の人生のピースではあっても、自分にとって、きっとなにか考えさせられるような何かを見出すことができるのではないのでしょうか。



第2の“家族”との思い出を胸に。

シーシーエヌ株式会社勤務
地域科学部地域文化学科 平成24年3月卒業
鯨岡 真由 さん

私は大学で、かけがえのない仲間に出会いました。それまではなんだかんだで家族と過ごす時間の方が多かったですが、大学では一人暮らしを始めたこともあって、友達と過ごす時間が圧倒的に増えました。同じ学部の友達、研究室、サークル、その他の活動で出会った友人や社会人の方々など、多くの人と楽しい時間を過ごさせていただきました。第2の“家族”とも言える仲間と出会い、一緒に楽しみ、一緒に苦労し、一緒に辛い思いを共有し、私たちはいつでも一緒でした。そういった中で深まった信頼は家族と離れているさみしさも補ってくれるほどで、卒業してからも大切にしていきたいと、心から思います。その中でも学年の枠を超えて関わることのできるサークルとの出会いは私にとってとても大切で、先輩の姿勢から学び、それを後輩に伝えていくことも経験できました。こんなにも大好きだと思える仲間に出会えたこと、本当に幸せに思います。みんな、ありがとう！



本当にやりたいことを追いかけた2年間。

静岡市立日本平動物園勤務
大学院応用生物科学研究科・修士課程 平成24年3月修了
横山 卓志 さん

私は大学3年の秋に、自分が本当にやりたいこと=夢を見つけました。動物園で働くことです。学部卒でも動物園に就職することは可能ですが、「もっと様々な分野を学びたい」、「いろんな世界を見てみたい」という思いから大学院に進学しました。
進学後、大学ではレッサーパンダの研究をしながら、暇を見つけては全国の動物園水族館を70園館以上訪れ、各園館のコンセプトや展示方法を学びました。また、日本と欧米の違いを知るため、1ヶ月かけてヨーロッパ9ヶ国を一人で旅し、22の動物園水族館を巡りました。研究会やシンポジウムにも参加し、様々な分野の方の意見を聞き、自分が動物園で何をしたいか考えました。今振り返ると、学部4年間は受動的な学びでしたが、大学院2年間は非常に能動的に学べたように思います。積極的に行動し、行く先々で様々な出会いがあり、自身の可能性が大いに広がった2年間でした。おかげで夢を叶えることができ、今は次の夢に向かっていきます。



自分自身を磨く1年から、挑戦し続ける2年目へ。

大学院工学研究科博士前期課程
社会基盤工学専攻 2年
堀 裕貴 さん

研究室配属が3年の3月頃に決まり、本格的に卒業研究が始まりました。学部生時代の勉強内容などに自信はありましたが、卒業論文を進めていく過程で自分自身には足りない力や能力が多くあると実感しました。専門的な知識も足りませんでした。特に失敗や問題に対してのアプローチ・問題解決能力、研究内容を文章にする力やプレゼンで発表する力などが足らなかったです。学部生時代の授業からはこれらの能力をなかなか培うことができないにも関わらず、社会に出てから重要な能力です。結果、「問題解決能力やプレゼン力がない状態で社会に出ていってこれでうまくやっていけるのか」と強く不安を感じました。そして、自分自身をより磨きたいと思うようになり、大学院進学を決めました。
研究が始まり、一番強く感じたことは失敗があるからこそ自分自身は成長するということです。失敗を恐れずに最後まで挑戦し続ければ、自ずと成長し高みに上がっていきけると思います。この気持ちを胸に残りの大学院生活1年間をより確かなものに成長していきたいです。



集団の中で。社会の中で。

いちい信用金庫勤務
教育学部生涯教育課程 平成24年3月卒業
山越 健太 さん

私は、フットサルサークルや学生企業展実行委員などの課外活動が大学生活の中で一番印象に残っています。課外活動では、複数人で活動・作業を行うことが多く、それぞれ立場や役割が違うので、考え方も様々です。仲間どうして意見が対立することもあり、情報や意思の共有を行うことが困難と感じる時もありました。また、サークルではリーダーを務めることもあり、メンバーの意見をまとめ、より良い方向へ導くことの難しさを身を持って経験し、コミュニケーションの大切さを深く実感することができました。そして、このような集団・組織での活動を通して、各々が持つ考えや個性を理解するという意味で相手を思いやる気持ちと、立場や役割をわきまえて行動するという集団内での自分の取るべき姿勢を学んだと考えています。このような学びを行えたことは、社会へ出て組織に身を置く私にとって大きな財産となると思います。